

授業で主役になろう！

全校集会 校長講話から

校訓	みんなのめあて
(夢をもち)	しょうらいのゆめをもち、まえむきなきもちをもつ。
(希望)	むずかしいことがあっても、くじけずにやりぬく。
(心)	なかまときょうりよくしてとりくむ。
(知)	じゅぎょうのみとおしをもち、めあてとまとめをいしきしてとりくむ。
(知)	じぶんのかんがえをもち、ともだちとつたえあう。
(知)	きづき、かんがえ、こうどうできる力をつける。
(知)	かていがくしゅうをはじめるじこくをきめ、しゅくだいはぜったいにする。
(徳)	じぶんらしさをたいせつにして、じぶんをすきになる。
(徳)	じぶんとおなじように、ほかの人もたいせつにする。
(徳)	さわやかなあいさつをする。
(徳)	すなおな心で人にせつする。
(徳)	あいてをこうげきせず、ていねいなことばで、じぶんのおもいをつたえる。
(体)	1・2年生は9時前、3・4年生は9時半前、5・6年生は10時前にねる。
(体)	6時半前におきる。
(体)	赤・黄・緑のバランスのよいあさごはんをたべる。
(体)	しせいをよくする。
(体)	メディアのじかんをきめて、まもる。

今日の全校集会は、授業で皆さんが主役になってもらいたいということについて話します。授業の主役が先生ではなく、皆さんになるためには、「みんなのめあて」の中の「授業の見通しをもち、めあてとまとめを意識して取り組む」と「自分の考えをもち、友達と伝え合う」を達成してもらおうとよいと思います。

授業の見通しを持つためには、まず黒板や電子黒板をよく見るとよいです。だいたい、先生は日付やページを書かれますよね。そして、前の時間とのつながりから、今日のめあてを書かれます。そして、教科書などから、皆さんが考えるための材料を示されると思います。写真や映像をもとに考える場合もあると思います。

5/11 p23

めあて OOをOOして、OOしよう。

考えるためのざいりょう

前の時間に学習したこと
自分のけいけん
と結びつけて考える

A班の考え

B班の考え

C班の考え

まとめ 主役は自分で考える

OOをOOするときは、()。

ふりかえり P24のれんしゅうもんだいをといて、きょうのまなびをふりかえりましょう。

考える材料が示されたら、まず自分の考えを持つことが主役になる第一歩です。だいたい前の時間に習ったことや自分の経験と結びつけると、自分の考えを持つことができます。そして、ペアや班で考えを伝え合う場面があるので、そこで考えをまとめていきます。次に、黒板や電子黒板、タブレットを使って、班の考えを出します。自分や自分の班の考えを出すことができれば、授業の主役になったといえますよね。

さらにここでは、自分が考え付かなかったようなことも、友達から学ぶことができます。そして、その考えを「まとめ」として整理したり、まとめの言葉を自分で書いたりという時間があります。先生のまとめを待つのではなく、授業の主役として自分でまとめるんだという気持ちを持ちましょう。それから、振り返りとして、算数では今日、学習したことを使って問題を解くことで振り返りをするのも多いと思います。この形に慣れてくると、授業がスムーズに進むようになり、振り返りの練習問題もたくさん解けるようになります。

5/11 p23

めあて

「ゆかいにあるけば」にふさわしい歌い方をくふうしよう。

考えるためのざいりょう「音楽のもと」

リズム、音の重なり

A班の考え
「ゆ、か、い、に」と「バルデリ」
ところは、腹筋を使ってはずむように歌う。

B班の考え
音が重なるところは、正確にのばしてあわせる。

C班の考え
曲の気分にあわせてはずみ、
声のひびきをみけんに集めて歌う。

まとめ

「音楽のもと」に注目するとふさわしい歌い方を考えることができる。
リズム: タツカは腹筋を使ってはずむ
音の重なり: 音はまっすぐ伸ばして重ねる

ふりかえり

タブレットで録音してきてもと、タツカのリズムがあまり弾んでいないことがわかった。ソプラノとアルトを重ねるとき、正確にまっすぐ伸ばさないときれいにならない。

音楽の授業でも、算数と同じように、めあてと考えるための材料が示されます。音楽の場合は、考えるための材料は、「音楽のもと」つまり、リズム、音色、せんりつ、速さ、強弱、音の重なりなどです。班に分かれて、練習したり表現を工夫したりするときも、「音楽のもと」の何を工夫するか意識すると授業の主役になることができます。皆さんはタブレットを持っているので、録音や録画がすぐにできます。タツカのリズムが弾むように表現できたか、ソプラノとアルトの音の重なりは美しく響いているかなど、振り返るときにとっても便利です。ガレージバンドを使って、1人でソプラノとアルトの声を重ねて録音していた学級もありましたね。

昨年度は、タブレットの活用で、先生方も授業の研究をかなり頑張ってくださいましたので、それを生かして今年度も授業の充実のために頑張ります。皆さんも授業の主役は自分だという自覚をもって取り組んでください。すでに、自分の考えを発表したり説明したりして主役になっている人もたくさんいます。今後の活躍も楽しみです。

授業や学校の様子



グループで音読練習



1年生もさっそくタブレットを使って授業で活用

傘は閉じた後、巻き止めてから傘立てに整頓して入れるように指導しています。



考える材料を電子黒板で表示

長靴もきちんと並べる習慣がつかってきました。

